

不老長寿の果実・コッコー（山口県・祝島）

— 瀬戸内海の小島にあつた伝説の果実 —

紀伊半島以西の太平洋岸から沖縄・南西諸島にかけて分布するシマサルナシ (*A. rufa*) は、豊後水道から暖流が入り込む比較的温暖な瀬戸内の島嶼部にも自生しています。

瀬戸内海西部に浮かぶ祝島（山口県）では、「コッコー」と呼ばれ、江戸時代の古文書には、島特産の長寿の果実として記されています。

秦の始皇帝の使者、徐福が東海の地でついに発見した不老不死の果実が、祝島のシマサルナシであったとの話も語られています。二〇〇二年秋に、元郵便局長の重村さんを頼って祝島を訪ね、「コッコー」のいわれを伺ったあと、橋部さんに野生の古木や民家に植えられている樹を案内していただきました。

昨今、果物の健康機能が注目されていますが、三百年より前からシマサルナシの効能が経験的に知られていたのかもしれない。一方、シマサルナシは、高温乾燥や病害にも強いことから、近縁のキウイフルーツの品種改良にも活用されつつあります。

二〇〇二年十月二十四日

